



21世紀かながわ円卓会議



介護の仕事をめざす人のためのワークショップ



外国籍県民向け防災体験講座 (主催: 神奈川県)



青少年国際セミナー (K-PIT)

2012年度のかながわ国際交流財団 —財団事業のポイントご紹介—

KIF SPECIAL INFORMATION

2012年度のかながわ国際交流財団—財団事業のポイントご紹介— 2

KIF INFORMATION & REPORT

21世紀かながわ円卓会議の成果を発信 6
湘南国際村アカデミア「1億度にプラズマを加熱する—太陽を地上に—」参加者募集中 6
外国につながる子ども支援のガイドブックのご案内 6
かながわ日本語学習マップのご案内 6
国際学生会館だより 国際学生会館の留学生を支える人々! 7
「INFO KANAGAWA」タガログ語・中国語の配信を開始 7
外国人住民の方へ:「仮住民票」の送付 7

KIF INFORMATION

かながわ国際交流財団へのご寄付のお願い 8

2012年度のかながわ国際交流財団 一財団

今年度は、新中期計画がスタートして2年目。中期重点目標に据えた「持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり」を目指し、県・市町村をはじめ県内国際交流団体、NGO／NPO、企業、大学など様々な担い手との連携・協働により、異なるセクター相互間をつなぐ中間支援組織としての役割・使命を一層発揮していきます。

特に、今年度は、地域の未来像を再考する契機となった東日本大震災後の社会状況を踏まえた事業展開に努めます。

◇◇「多文化共生の地域づくり」をめざして◇◇



多文化共生を育むことをテーマとしたリーフレット

■多文化共生を育むために

誰もが多様な文化や価値観、民族の違いなどを互いに理解し、尊重していくことができるよう多文化理解の促進を図ります。今年度は、外国人コミュニティやNGO／NPOと連携し、財団のホームページをとおして県内の外国人コミュニティや外国人住民の生活文化等を広く紹介します。また、日本語を母語としない方々にとって理解しやすい日本語の使い方や情報の伝え方などをまとめたリーフレットを作成します。

■災害発生時に外国人住民の安心・安全をサポート

当財団では、東日本大震災の教訓を踏まえ、本年3月、神奈川県との間に「神奈川県災害多言語支援センター」の設置・運営に関する協定を結びました。同センターは、県に災害対策本部が設置されるような災害が発生した際、「ことばの壁」がある外国人住民に、やさしい日本語や多言語による情報を提供するとともに、相談窓口を設置して、外国人住民からの相談に的確に対応することが主な役割です。

今年度は、県内外の自治体、国際交流協会、NGO等と防災対策、災害時における外国人支援に関する情報共有に努め、災害時の協力体制の強化を図ります。また、今秋には県の委託事業として、市町村と連携し、災害時の多言語対応の訓練と外国人住民を対象にした防災体験講座を実施します。



外国籍県民向け防災体験講座（主催：神奈川県）

■多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」をさらに充実

当財団は、月4回程度、外国人住民の方々に生活に役立つ情報を多言語でメール配信するサービス「INFO KANAGAWA」を提供しています。「INFO KANAGAWA」は、東日本大震災の際には、当日から地震に関する情報提供を行っており、災害時の情報伝達の貴重なツールにもなっています。今年度は、英語、スペイン語、ポルトガル語、やさしい日本語、中国語に加え、新たにタガログ語を追加しました。また、これまでエスニックメディアを介して配信し、利用者が限定されていた中国語については、財団からも配信を開始し、より多くの方に利用していただけるようになりました。

■外国人コミュニティとの連携強化をめざして

県内各地の外国人コミュニティとの連携を深めていくため、昨年度は、県内外国人登録者の上位5つの中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジル、ペルーのオールドカマーを含む26の外国人コミュニティに直接お話を伺い、報告書にまとめ、広く県内に発信し、課題等の共有をしました。

今年度は、昨年度の調査結果をもとに、コミュニティ間のネットワークづくりを目的にした意見交換会を開催するとともに、外国人コミュニティの活動等を財団ホームページでご紹介する事業などを実施します。また、ベトナム、ラオス、カンボジアなどのコミュニティに対するヒアリング調査を行い、コミュニティの課題やニーズ等を把握し、広くお伝えするとともに、さらなる連携強化を進めます。



外国人コミュニティ調査

事業のポイントご紹介ー



フォーラム「神奈川の外国人コミュニティのこれから」

■外国人住民への総合的な支援のモデル事業を実施

昨年度は、モデル地域としてご協力いただいている平塚市域において、外国人住民、地域のキーパーソン、行政関係者らから、生活課題やその解決に当たって困っていることなどについて実態を把握するための聞き取り調査を行いました。そして、その結果をもとに、行政や地域の団体の皆さんと連携して、外国人住民への総合的な支援を効果的に進めるためのモデル事業の検討を行ってきました。

今年度は、モデル地域において、困難な課題の解決に向けて支援などを行うパイリンガルの「多文化サポーター」の派遣、外国人住民を対象としたセミナーの開催、外国人住民に必要な情報の多言語化とその普及等を行うとともに、モデル事業での取り組み内容や県内外の実践事例の情報を共有し、各地域の課題解決に活用していただくことを目的とした事例報告会を開催します。



外国人住民総合支援事業モデル事業

■「多文化ソーシャルワーク講座」の開催

外国人住民が抱える生活課題の解決に向けて、文化的背景の違いを踏まえながらケースワークやコミュニティワークを行うなど、相談から解決に至るまで一貫した支援ができる人材の育成を目的に、外国人住民への支援を実践している方々や社会福祉の仕事をしている方々を対象として、多文化理解とソーシャルワークの実際を学ぶ講座を企画・実施します。

■21世紀を担う外国につながる子どもの支援

外国につながる子どもたちの学習環境の向上をめざして、県内の教育現場で役立つ実践的な資料を作成するとともに、当財団発行の多文化共生教育に関するガイドブック等を活用した教育関係者向けの研修や外国につながる子ども支援をテーマにしたフォーラムを開催します。

また、県・市町村教育委員会、NGO／NPO等による小中学校段階の外国につながる子ども支援に関する連絡会、県の関係部局、NGO／NPO等による高校生以上の若者の進路サポート強化のためのネットワーク会議を開催します。さらに、県や市町村の教育委員会にご協力いただき、国際教室のある学校を対象に、子どもの高校進学の実態把握を行います。



多文化共生教育推進事業「ガイドブック」

◇◇県内のNGO活動のさらなる促進と多文化共生社会の基盤整備をめざして◇◇

■かながわ民際協力基金を活用した助成・協働事業の実施

（助成事業）

県内のNGO／NPOが実施する先進的かつ有意義な海外協力、国内協力活動等に資金助成を行います。今年度は、春（4～5月）と秋（10～11月）に募集を行います。

（協働事業）

当財団とNGO／NPO双方の強みを活かした協働事業の提案を募集します。現在、財団では、福祉人材を養成する学校法人と協働で、外国人住民が福祉・介護現場に就業し、定着していくために必要な方策を検討する事業を実施しています。

■かながわ非営利組織フォーラムの開催

地域の課題を解決する上で、中心的な役割を担うアクターとして重要な非営利組織（NGO／NPO）が新しい市民社会を築くための課題を取り上げ、講義やディスカッションを通じて参加者とともに考え、解決を模索するフォーラムを開催します。

◇◇国際性豊かな人材の育成のために◇◇



国連大学グローバル・セミナー 全体討論の様子



インカレ国際セミナー 分科会での討論の様子



高校国際教育支援事業 高校での講演会の様子



青少年国際セミナー (K-PIT)

■国連大学グローバル・セミナーの実施

国連大学と連携して大学生、大学院生、留学生等を対象に3泊4日のセミナーを実施します。日英2ヶ国語を使用した国内外の研究者・専門家らによる講義とグループ討議を行います。今年度は「地球社会は多様な人道危機にどう取り組むか」をテーマに、9月初旬に湘南国際村センターで開催します。

■インカレ国際セミナーの実施

大学1, 2年生を中心に、「東アジア共通の家」をテーマに基調講演や分科会での集中討論を通じて学びあうセミナーです。将来アジアと日本の関係に理解を持つ国際的な人材の育成を目指します。12月上旬に開催を予定しています。

■県内の高校の国際教育を支援

研究機関、NGO、外国籍県民等とのネットワークやセミナー実施のノウハウを活用し、国際社会で生きる力を備えた人材を育成する教育プログラムの企画相談、講師派遣等を行い、高校における国際教育を支援します。

■高校生世代を対象とした国際理解セミナーの実施

「世界の入口に立とう」を共通テーマに、参加型学習（ワークショップ）の手法を取り入れた青少年国際セミナー（K-PIT）を開催し、世界の現状を知り（国際理解）、国際社会で生きる力（多・異文化理解マインド、思考力、実践力等）を備えた人材を育成します。夏休み（日帰り）と春休み（2泊3日）に開催を予定しています。

■留学生を支援します

神奈川国際学生会館（横浜市旭区・相模原市）の運営、地域住民との交流促進に加え、新たに次の事業を行います。

①留学生の就職支援事業

合同会社説明会など、就職を希望する留学生と企業とのマッチング機会の提供、就職支援セミナーや企業見学会を企業と協働して実施します。

②留学生サポート・ファミリー事業

県民と留学生との間で顔の見えるコミュニケーションを図り、留学生の地域社会への参加を促していくために「サポート・ファミリー」を募り、留学生の生活等における支援までつなげていきます。

③留学生による学校訪問事業

県内の小・中・高等学校の要望を受けて、国際学生会館に住む留学生を国際理解講座等の講師として派遣します。留学生の出身国の文化紹介をはじめ、自身の留学体験など対象児童・生徒の学年に応じた内容で授業を行います。

④県の留学生支援施策に関するニーズ調査

今後の県の留学生支援のあり方を検討するため、大学、企業、留学生支援団体等の留学生支援の現状と課題、及び、国際理解教育に対する学校のニーズを把握するための調査研究事業を実施します。

◇◇学術・文化交流の促進のために◇◇



21世紀かながわ円卓会議で講演する神奈川県黒岩知事

■21世紀かながわ円卓会議を開催

円卓会議ではこれまで、グローバル化の影の部分である、世界経済不況、地球環境破壊、地域社会の疲弊などを踏まえて地域社会のあるべき将来像について考えてきました。そして東日本大震災を経験し、改めて人の絆や地域社会の絆の大切さが見直されている中で、昨年度に引き続きコミュニティをテーマとして、多分野にわたる研究者、自治体首長、ジャーナリスト、実務家などが集い議論を展開します。県内での取り組みや課題も踏まえて複数のセッションを設定し、多角的な議論を通して出席者の社会的ネットワークも蓄積しながら、幅広い視点でコミュニティづくりについて考えます。今年度の円卓会議は12月中旬に湘南国際村センターで開催を予定しています。



第5回21世紀ミュージアム・サミット 分科会の様子

■21世紀ミュージアム・サミットの成果を出版

地域文化の重要な担い手であるミュージアムに注目し、2004年から隔年で開催してきた21世紀ミュージアム・サミット。2012年2月には、第5回目の「100人で語るミュージアムの未来Ⅱ」を開催し、基調講演と4つの分科会を通して、美術館・博物館の現状や課題と様々な取り組みを紹介・共有し、ミュージアムの社会的役割を考えました。今年度はその記録を出版し、美術館・博物館などが抱える課題の検討を通じて地域文化・社会教育の充実と、魅力ある神奈川づくりに取り組みます。また、同サミットの成果をふまえたセミナー等の開催を予定しています。



第5回21世紀ミュージアム・サミット
基調講演者ジョン・ホールデン氏（英国シェフィールド大学客員教授）

■調査研究の実施ー持続可能な地域社会づくりを目指してー

湘南国際村学術研究センターが行ってきた理論と地域実践を結ぶ事業と、主に財団本部が行ってきた県民活動支援事業とで蓄積された知識・ノウハウを活かし、重要性が高く、かつ中長期に影響が及ぶ可能性の高い課題を取り上げて調査を行い、持続可能な地域社会づくりに向けた課題解決の方向性を提案します。

■湘南国際村内の知的資源や研究活動の成果を発信

地球環境戦略研究機関（IGES）や総合研究大学院大学等、湘南国際村内の研究機関と湘南国際村学術研究センターが連携し、それらの機関の知的資源研究活動の成果を活かした生涯学習のためのセミナーや講演会を開催します。年間を通して3回の実施を予定しています。



湘南国際村生涯学習支援事業
総合研究大学院大学と共催のセミナー

※各事業の詳しい内容は、ホームページをご覧ください。当財団が作成した報告書、ガイドブック、リーフレットはホームページからダウンロードすることができます。

21世紀かながわ円卓会議の成果を発信

2011年11月に開催された「21世紀かながわ円卓会議」での講演をまとめた報告書が完成しました。モデレーターを務めた東京大学名誉教授の神野直彦さんをはじめ、神奈川県黒岩祐治知事、環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也さん、佐久総合病院医師の色平哲郎さん、福島県立博物館館長の赤坂憲雄さんなどによる多彩な講演に加え、神奈川県内の事例報告を掲載しています。購入を希望される方は、下記によりお申込みください。

[A4版・ソフトカバー・64頁・400円(税込)]

●購入方法 Email、FAX、電話で、報告書名・冊数・氏名・住所・電話番号・Eメールアドレスをご連絡ください。代金は折り返しお知らせする指定口座へお振込みいただきます(振込手数料はご購入者負担になります)。

●申込み・問合せ 湘南国際村学術研究センター

TEL: 046-855-1822 FAX: 046-858-1210

Email: shonan@kif.ac



湘南国際村アカデミア「1億度にプラズマを加熱する一太陽を地上に一」参加者募集中



湘南国際村にある学術研究機関が取り組む研究内容を、わかりやすく伝える生涯学習の連続セミナー。今回は、原子力に代わる未来の発電方法の実現に向けた取り組みについてのお話です。気軽に質問ができる少人数・カフェスタイルで行います。総合研究大学院大学との共催です。

●講師 竹入康彦さん(総合研究大学院大学教授／自然科学研究機構核融合科学研究所教授)

●開催日 2012年6月23日(土) 14:00~16:00

●会場 湘南国際村センター第2研修室(葉山町)

●参加費 650円(高校生以下無料)※ソフトドリンク・お菓子セット付き

●定員 40名(先着順)

申込み受付期間は5月10日(木)から6月7日(木)

●申込み 事業名、氏名、住所、電話・FAX番号、Emailアドレスを明記のうえ、EmailまたはFAXにて下記までお申込みください。

●申込み・問合せ 湘南国際村学術研究センター 担当: 小松・清水
Email: academia@kif.ac

FAX: 046-858-1210 TEL: 046-855-1822

外国につながる子ども支援のガイドブックのご案内

日本の学校で学ぶ外国につながる子どもたちへの支援に役立つ2冊のガイドブックを発行しています。どうぞご活用ください。冊子の内容を取り上げた研修の企画・実施に関する相談も受け付けています。

「日本生まれの外国につながる子どもたち~どうやってサポートすればいいの?」

教員や支援者が主に小学生の子どもたちへの支援をより充実させるために必要な情報や事例を掲載しています。

[A5判/48頁/2011年3月発行]

「外国につながる子どもがホッとする授業づくり~教科書を活用したアイデア集~」

県内で使用されている小学校の生活科・社会科の教科書を題材に、学級や地域で進む多文化化に子どもたちが学ぶ、授業のアイデアを紹介しています。[A5判/48頁/2012年3月発行]

●入手方法

〈ホームページから〉

財団のホームページ「多文化共生の地域社会かながわづくり」のページからダウンロードできます。

〈郵送〉

A4サイズの書類が入る封筒に送付希望先の名前・住所を記入し、140円分(両方ご希望の場合は240円分)の切手を貼って下記住所までお送りください。また、今後の事業の参考のために、「所属」「冊子の活用方法」「外国につながる子ども支援に必要な視点」等について書いたメモを同封していただけると幸いです。

●送付先 〒221-0835横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8

第一安田ビル4階 かながわ国際交流財団

多文化共生・協働推進課宛

*「ガイドブック希望」と封筒にお書きください。

*冊数が限られているため、お一人一部ずつの送付になります。

小中学校に対しては、複数部数の送付もできますのでご相談ください。

●問合せ 多文化共生・協働推進課 TEL: 045-620-0011



かながわ日本語学習マップのご案内

財団では、県内で開催されている日本語教室、母語教室、子どもの学習補習教室の情報をまとめたホームページ「かながわ日本語学習マップ」を運営しています。各教室の開催日や参加費、連絡先、わかりやすい地図を掲載し、ルビと多言語に対応しています。現在、リストには83の日本語教室、37の子どもの学習補習教室、15の母語教室を載せているほか、日本語教室は、各市の国際交流協会へのリンクを通して横浜市内(92教室)、川崎市内(22教室)、横須賀市内(11教室)にある教室の情報にアクセスできます。

●問合せ 多文化共生・協働推進課 TEL: 045-620-0011



国際学生会館だより 国際学生会館の留学生を支える人々！

当財団では県内2か所で私費留学生を対象として、快適な勉学環境の提供と地域住民の方々との各種交流事業を実施する国際学生会館を運営しています。このコーナーでは、同会館の様子やお知らせなどを紹介いたします。

神奈川国際学生会館が開設されてから20年以上が過ぎ、これまで約1,500人の留学生が巣立っていきました。この中には日本や母国の様々な分野で活躍している留学生も多いと思われます。今回は、このような留学生をサポートしている人たちにスポットを当てました。

日々の生活での最大の支援者、それは何といっても学生会館に常駐し、生活をともにしている管理人さんではないでしょうか。病気の時の面倒から生活上の相談など多岐にわたり、心身両面での支えとして、日本のお父さ

ん、お母さん役を担っています。そして、同世代の日本人チューターは、会館でともに暮らす身近な相談相手として、お兄さん・お姉さんの役割を果たしています。

支援団体では、まず最初に“インターピープル・ふちのべ”を挙げたいと思います。学生会館・淵野辺の開設とともに発足し、長年にわたり留学生の経済的支援、日本文化に触れる機会を提供し続けています。一方、学生会館・白根に目を転じると、こちらは地域に支えられた学生会館事業が展開されていま

大きな行事である「ガーデンパーティ」や「年末交流会（餅つき大会）」は、まさに地域の全面的な応援で成り立っており、家庭的な雰囲気が最大の特徴といえます。

このほかにも、地域の“ロータリークラブ”“留学生と語る会”そして地元アーティストの方も事あるごとに支援の手を差し伸べてくれています。これら幾重もの温かい輪に囲まれ、2012年度春入居の留学生38名が、元気に学生会館での生活を始めています。



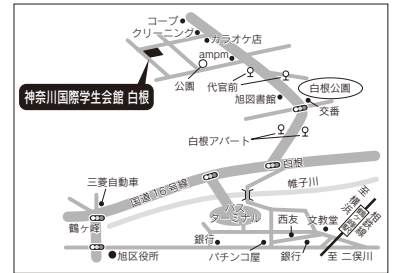
“留学生と語る会”の方々
(ガーデンパーティ)



多くの“地域の皆さん”が協力
(年末交流会にて)



神奈川国際学生会館・淵野辺
〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台 1-10-22
TEL : 042-768-0211 FAX : 042-768-0213



神奈川国際学生会館・白根
〒241-0005 横浜市旭区白根 4-24-3
TEL : 045-953-7001 FAX : 045-953-7001

「INFO KANAGAWA」タガログ語・中国語の配信を開始しました

多言語情報メール配信サービス「INFO KANAGAWA」では、これまでやさしい日本語・スペイン語・ポルトガル語・英語で配信していましたが、この4月から中国語とタガログ語が加わりました。

県内の教育、福祉、すまい、医療、防災、観光イベント情報などを、月に4回程度配信しています。周囲の外国人のお友だちやお知り合いに情報を伝達できるよう、日本人の方でもぜひご登録ください。

新しく登録フォームを設け、希望者が直接登録できるようになり、さらに便利になりました。

http://www.k-i-a.or.jp/shuppan/info_kanagawa.html

登録フォーム：<http://bit.ly/Hqth1Q>
(Smart Phone / PC用)
：<http://bit.ly/HPiPcl>
(Mobile Phone用)



登録画面 (HPページよりプリントスクリーン)



外国人住民の方へ 「仮住民票」の送付について

- 外国人住民の方へ：市区町村から5月に「仮住民票」が送られてきます。大切なものなので必ず内容を確認してください。
- 日本人の方へ：周囲の外国人住民の方にこのことをぜひお伝えください。

2012（平成24）年7月9日に新しい入管法・住民基本台帳法（以下「改正法」）が施行され、外国人住民も日本人住民と同様に住民票に記載されるようになります。

5月7日時点で登録されている外国人登録の内容で「仮住民票」が作成され、外国人住民の方に送られてきます。

外国人住民の方は、「仮住民票」の記載内容を確認し、変更がある場合は、手続きをする必要があります。5月中旬ぐらいに市区町村から届いた郵便物を必ず確認してください。また、日本人の方も、ぜひ、周囲の外国人住民の方にこのことを伝えていただければ幸いです。

KIF INFORMATION

かながわ国際交流財団へのご寄付のお願い

当財団では昨年度から中期重点目標に掲げた『持続可能な多文化共生の地域社会かながわの基盤づくり』の取組みを着実に進めるため、寄付者の皆様に寄付金の使途を次の4つの事業から指定していただく新たな寄付制度を設けております。これまで同様、当財団へのご厚意を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ① 「多文化共生の地域社会かながわづくり」
- ② 「県民・NGO等との連携・協働による国際活動の促進」
- ③ 「国際性豊かな人材の育成」
- ④ 「学術・文化交流を通じた地域からの将来像の提案」

振込先：ゆうちょ銀行 00280-4-49894

公益財団法人かながわ国際交流財団

通信欄にご希望の事業名または事業の番号（①～④）をご記入ください。

当財団は本年4月1日に公益財団法人に移行しましたので、これに伴い、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは当財団ホームページ並びに国税庁ホームページをご覧ください。

当財団ホームページ：<http://www.k-i-a.or.jp/>

国税庁ホームページ：<http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1150.htm>

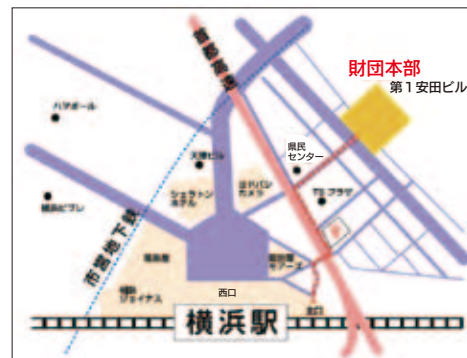
（タックスアンサーNo.1150 一定の寄附金を支払ったとき（寄附金控除））

かながわ国際交流財団
(略称K I F) は…

地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いをこえて、いきいきと心豊かに暮らせる社会の実現のため、次の4つを柱として、事業を展開しています。

- 1 多文化共生の地域社会かながわづくり
- 2 県民等の国際活動の支援、NGO等との連携・協働の促進
- 3 地球規模の課題等に対応できる国際性豊かな人材の育成
- 4 学術・文化交流を通じ、地球規模の課題解決に向けた地域からの将来像の提案

財団本部（多文化共生・NGO協働推進センター）



湘南国際村学術研究センター



賛助会員募集のご案内

当財団の活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。多文化共生の基盤づくりなど幅広い活動をしている当財団をぜひご支援ください。

●会員の皆様へのサービス

- ・本誌を定期的にお送りします
 - ・当財団の出版物の割引サービス
 - ・提携しているエスニック・レストランの優待サービス 等
- （会員サービス情報提供 URL：<http://www.k-i-a.or.jp/member>）

●会費

①学生会員1,500円以上 ②一般会員3,000円以上 ③団体会員10,000円以上（会員の有効期限は1年間です。期限を過ぎて6か月間会費の支払いがなければ自動退会となります）

●申込み・問合せ

次のホームページから申し込むか、財団事務所にお電話をください。

申込用ホームページ：<https://secreg.jp/sr/k-i-a.jp/form/NDU1>

TEL: 045-620-0011

広告を掲載しませんか？

本誌は、国際協力・国際交流の活動をしている市民グループをはじめ、図書館、公民館、パスポートセンター、県内の高校、市町村の国際担当部署、教育委員会、区役所、県庁、財団賛助会員の皆様などに配布しています。

発行部数：5,000部

掲載に関する情報は次のホームページか、お電話で <http://www.k-i-a.or.jp/ad/>



公益財団法人 かながわ国際交流財団
Kanagawa International Foundation

ニュースレター『KIF NEWS』

2012年5月15日発行 第29号

発行/公益財団法人かながわ国際交流財団 発行回数/年4回

【財 団 本 部】〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第一安田ビル4階 TEL: 045-620-0011 FAX: 045-620-0025 <http://www.k-i-a.or.jp/> E-mail: tabunka@k-i-a.or.jp
 【湘南国際村学術研究センター】〒240-0198 三浦郡葉山町上山口1560-39 湘南国際村センター内 TEL: 046-855-1820~1822 FAX: 046-858-1210
 【神奈川国際学生会館・湘野辺】〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-10-22 TEL: 042-768-0211 FAX: 042-768-0213
 【神奈川国際学生会館・白根】〒241-0005 横浜市旭区白根4-24-3 TEL: 045-953-7001 FAX: 045-953-7001

印刷・DTP/有限会社 青史堂印刷